

重要文化財「千葉家住宅」保存修理
工事の進捗状況について 市政調査会

〔調査日〕

平成29年9月29日

〔調査研修場所〕

千葉家（綾織町）

〔参加議員〕

7名

平成26年7月の調査に続き、今回は実際に工事現場の調査を行った。

ついでにことや、山際に移動したことがわかったとのことであった。解体された外にあった「便所」は、昭和49年主屋に水洗トイレが作られるまで使用していたとのことである。客用と家族用の便所が同じ屋根の下に別々にあった。その当時は客の出入りも多かったことが伺われた。

「ハセ小屋」が解体調査され、別の建物が建

主屋の「馬屋」は茅葺きで、骨組み状態であった。梁や合掌の材料は、長さが11mもある通し物の木材を使用していた。

「馬屋」は、3間半（約6・3m）増築され、馬の頭数を増やした形跡が見られた。今後の調査結果も楽しみである。



ハセ小屋の解体調査

議会を傍聴してみませんか

12月定例会は11月28日(火)からです!

議会がどのように行われ、議員がどのような活動をしているかを知るには、傍聴するのが一番です。

手続きは簡単です!

本会議または各委員会を傍聴される場合は、当日に議会事務局にお申し出ください。受付簿に氏名等を記入していただきます。

傍聴する場合のお願い

傍聴をする際は、飲食が出来ない、私語や拍手を控えるなどの「傍聴するにあたってのルール」があります。議場前に掲示してありますので、確認のうえ傍聴してください。



車いすのままでも入場できます!

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介いたします。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

市役所新庁舎の完成、心よりお祝い申し上げます。新しい議場での9月定例会より、遠野市議会の益々の繁栄をよろしく願います。(上組町、66歳、男性)

議会だよりは身近な話題が多く、関心を持って読ませていただいています。介護業界の人材不足の活動もはじめていることを議会だよりからみています。特に議会だよりのクイズをととても楽しみにしています。(松崎町、33歳、女性)

表紙の園児の笑顔を見て短冊に「どんな願いを書いたのかな、ウフフ!」と私ものぞき見したくなりました。(上郷町、80歳、女性)

地域再生の道を探る

智頭町・西栗倉村に学ぶ

総務常任委員会

〔視察日〕

平成29年

7月11日～13日

〔視察研修先〕

鳥取県智頭町

岡山県西栗倉村

〔参加議員〕

菊池由紀夫

佐々木大三郎

瀧本孝一

浅沼幸雄

新田勝見

〔同行職員〕

農家支援室主任

菊池陽一朗

■智頭町では、平成9年に「日本1/0（ゼロ分のイチ）村おこし運動」を通じて、「集

落振興協議会」を設立し、やる気のある集落を積極的に支援する体制を整備した。その後、平成20年には集落振興

百人委員会の委員は18歳以上の町民や町内勤務者が公募により選考されている。委員自らが政策提言、予算折衝まで行っており、実施しているのは非常に珍しい。

智頭町疎開保険については、都会等で災害が発生した場合の、安全・安心が確保できる場所を提供しようとするもので、災害発生時



西栗倉村役場にてローカルベンチャー発祥の地といわれる取り組みを学ぶ

に避難場所から智頭町へ疎開。1泊3食7日間生活できる場所と食事確保し、都市住民への災害時への備えに対応する事業である。

■西栗倉村は、全面積の95%を森林が占める人口1478人の村である。人口減少や高齢化により村がなくなつてしまふという強い危機感から、総務省の地

るさと納税的な側面を持ち合わせていた。

域マネージャー事業の活用をきっかけに「第一次産業を元気にすれば地域が再生する」と、林業再生を模索し始めた。

議論の末、平成17年村の理念「心産業の創出」というテーマが生まれる。これは、物をたくさん作って売って終わりの産業界ではなく、互いに信頼し合える豊かな関係性を、産業を通して作り出していきたい。そういった地域経済を再構築したいというもの。

この理念の下、役場の外に人材獲得のための雇用対策協議会を設置し、地域おこし協力隊制度の活用で、多くの優秀な外部人材を獲得し始めた。これが西栗倉村のローカルベン

チャーの起点となった。平成25年以降、政策的にローカルベンチャーを生み出す挑戦として、「地域のやる人さがし(新しい仕事を作る挑戦者)」の募集を始めた。この投げかけに応えるように若い世代の転入者が増え、村が理想としていた林業の周辺分野に次々と新しい仕事が生まれていく。「人を惹きつけるのは、人。挑戦している人がいるから挑戦者が集まる。挑戦できる地域か」が大切だと学んだ。

本市のローカルベンチャーへの取り組みも、成果として見えるまでは少し時間を要するのかもしれないが、しっかりとした育成目標を持ち、地域活性化に向けた効果を期待したい。